

第6回湖南省文化財保存活用地域計画策定協議会 追加資料

・主な修正箇所

素案頁行数	修正前	修正後
P38 3行目	—	第2章までで述べてきたとおり、古くから交通の要衝地として発展した本市は、人・文化の様々な交流と自然・信仰を背景として歴史が継承され、そこから育まれたまつりが地域の絆を強めてきました。
P38 8行目	—	豊かな自然・歴史ある信仰・人や文化の交流に育まれた地域 ※「湖南省らしさの説明」をもとに検討しました。
P47 11行目	文化財の適切な保存・継承が困難になりつつあります。	文化財の保存や継承について新たなあり方を模索する必要性が生じています。
P47 16行目	—	また、市民だけではなく市外の人々にも輪を広げた、みんなで文化財を保存・活用する取組みを行うことも必要です。
P48	—	※各基本方針にどういった内容であるか説明書きを追加しました。
P49～	—	※第6章内、課題に見出しを追加しました。
P56 4行目	郷土愛を高めることを目的として各小中学校で地域にある文化財を活用した地域学習を行っています。	各小・中学校で地域にある文化財を活用した地域学習を行い、ふるさと意識の醸成を図っています。
P58 7行目 第7章	—	事業の実施にあたっては、その財源として市費、県費、国費（文化財補助金、新しい地方経済・生活環境創生交付金など）、その他民間団体・企業の事業費などを活用しながら進めていきます。
P59～	—	※表から「財源」の項目を削除

		※実施期間の再検討
P59 事業番号 3	湖南省文化財講座事業 外部の～	湖南省文化財講座事業 外部の専門員または課職員を講師として、市内の文化財を「みて、触れて、楽しむ」ことができる解説、講座、見学会などを定期的開催します。
P60 事業番号 13	文化財の指定推進 調査により評価の定まった未指定文化財を指定し、文化財の適切な保存・活用を推進します。	文化財指定の推進 調査により評価の定まった未指定文化財を指定し、文化財の適切な保存・活用を地域とともに推進します。
P60 事業番号 17	防災・防犯体制の構築 災害発生時に国や文化財防災センター、滋賀県と連携して対応する体制、文化財の救援ネットワークを構築します。	防災・防犯体制の構築 災害発生時から復旧まで、国や文化財防災センター、滋賀県、所有者・管理者、地域と連携して対応する段階的な体制を整備し、文化財の救援ネットワークを構築します。
P61 事業番号 19	文化財パンフレット、マップ等作成 文化財を紹介するパンフレットやマップを作成し、文化財の魅力を伝えます。	文化財マップ等作成 文化財を紹介するマップ等を地域とともに作成し、文化財の魅力を発信します。
P61 事業番号 20	湖南省多文化発信事業 湖南省の文化財や伝統行事を、外国人市民へ多文化共生の視点で発信し、地域の歴史理解と交流を深めます。	多文化発信事業 文化財や伝統行事を、外国人市民へ多文化共生の視点で発信し、主体的に参加できる機会を創出し、地域の歴史理解と交流を深めます。
P61 事業番号 21	湖南省インバウンド魅力発信事業 多言語解説や案内の整備を進め、外国人観光客へ湖南省の文化財や伝統行事の魅力を効果的に発信します。	インバウンド魅力発信事業 多言語解説や案内の整備を進め外国人観光客および外国人市民が本市の文化財や伝統行事への理解を深められるよう、情報を発信します。
P61 事業番号 22	調査成果の電子版報告書作成および公開 紙媒体で観光する調査報告書など	調査成果の電子版報告書作成および公開 調査・研究成果を多くの人が活用で

	を電子データにてホームページ上で公開します。	きるようホームページなどの電子媒体も活用しながら、公開します。
P62 事業番号 25	—	文化財を保存・活用する地域活動の支援 地域で行っている文化財を保存・活用する活動を今後も継続できるよう、担い手の育成などの支援を行います。
P63 事業番号 26	学校現場における文化財を教材とする取組みの推進	学校教育における文化財を教材とする取組みの推進
P66 図 17	—	※関係機関・国を青枠の外に記載するように修正しました。